



永福学園通信

第4号

東京都立永福学園
校長 緒方 直彦

ICT 活用の充実に向けて



7月に入り、猛暑が続いています。暑さ指数（WBGT）の計測により、屋外での活動中止を全校放送で呼び掛ける日が増えてきました。夏季休業中も熱中症などに十分に気を付けて、お過ごしください。

さて、本校のICT活用の充実に向けた取組について紹介します。東京都が進める児童・生徒に一人1台の端末の配備に加え、本校では令和4年度、肢体不自由教育部門・就業技術科の全教室に大型モニター・プロジェクターを配備しました。文科省による「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」では、特別支援学校の普通教室への大型モニター等の配備率が48.6%に留まっていることに比べ、本校の環境は整っているとと言えます。

この万全な環境整備を生かして、ICTを活用した指導力を向上させることが本校の課題だと考えています。

ここでは、前述の調査において、「教師に求められるICT活用指導力」とされている次の4つの項目（A～D）より、本校の取組状況を御説明いたします。

「A 教材研究・指導の準備・評価・校務などにICTを活用する能力」 授業の準備段階や授業後の評価など、児童・生徒を前にした指導場面ではありませんが、日常的な教材や文書作成においてICTを活用する能力についての項目です。全教員は常に、端末を使用した指導計画や記録、教材作成を行っており、画像データを使用した学級通信などを作成することも、これに当たります。

「B 授業にICTを活用して指導する能力」 ICTを活用して、児童・生徒の興味や関心を高めたり、課題を明確に把握させたりするほか、個別学習や協働学習でICTを活用する能力です。就業技術科では、都立学校で一斉に実施される「オンライン学習デー」を後期に設定し、学年ごとに1日を通してオンラインで授業を行います。

非常時にオンライン学習を円滑に実施する指導力を高めるために、夏季休業中には、ICT外部専門員による研修で各機器の利活用に関する力の向上や、オンデマンド教材等の蓄積・改良等にも取り組んでいきます。

「C 児童・生徒のICT活用を指導する能力」「D 情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力」が、今後、本校の全教員が身に付けられるように目指していく力です。児童・生徒が、学習に必要とする情報を収集・選択したり、情報モラルや情報セキュリティについて正しく理解し活用したりする態度・姿勢は、今後ますます必要になってきます。

以上のように令和5年度はICT活用の充実に向けた取組を重点として位置付け、来校された外部の方々からいただく評価アンケートの項目に「ICT機器を有効活用した授業改善について」を設定しました。いただいた御意見を今後の教育活動の改善に生かしてまいります。

肢体不自由教育部門 副校長 安田 泉

<お知らせ>

（1）【令和5年度学校評価について】

学校経営計画に掲げる「安心・協働・伸長」のある学校の実現に向け、保護者の方々に学校評価の御協力をお願いいたします。実施期間、方法などの詳細は、9月に紙面及びマチコミメールにてお知らせいたします。

（2）【令和5年度外部専門員の御紹介】

本校に勤務している外部専門員の先生方を、ホームページの「保護者向けページ」に掲載いたします。4月25日のマチコミでIDとパスワードはお伝え済みです。

（3）【夏季休業中における働き方改革についてのお願い】

今年度の学校閉庁日は8/9～8/16です。教職員の出勤はなく、経営企画室の窓口業務も行いません。

また、夏季休業中は留守番電話を午後5時から午前8時10分まで設定します。

教職員の長時間労働の改善についての御協力を、どうぞよろしくお願いいたします。



特色ある授業の紹介 ～ICT 機器の活用～

【肢体不自由教育部門】

主任教諭：宇都宮 浩司

「好きなことや思いを伝えたい!!」ICT 機器はそんな児童・生徒の願いを実現する道具の一つです。肢体不自由教育部門では、様々な教科で ICT 機器を活用して児童・生徒の表現の幅を広げ、友達と情報を共有したり、学習成果を確認しあったりする学習を行っています。

今回は、小学部高学年の生活単元学習「自己紹介」の授業を紹介します。生活単元学習では、自立した生活に必要な事柄を実際的・総合的に学習しています。この授業で使用したのは、アプリ「すききらいカメラ」と「ぼいすぶっく」です。児童は、アプリを活用して、自分で撮った写真を、すき、きらい、わからないに振り分けました。次に「ぼいすぶっく」で、写真についてのコメントを音声入力して、「自己紹介」を作りました。

児童が画面をタッチすると、自己紹介が再生できます。友達同士で自己紹介し合った後は、教室を飛び出し、保健室や他のクラスにも自己紹介に行きました。

本授業を通して、児童は、互いのことを知り合い、友達の好きなことに関心を高め、もっと多くの人に伝えたい、という表現意欲を高めることができました。今後は就業技術科の生徒との交流や副籍交流の際にも、本授業で作成した「自己紹介」を広く活用していきたいと考えています。



【就業技術科】

タブレット端末を活用した授業の充実に向けて（活用事例の紹介）

主任教諭：美田 南

普通教科

（音楽）



1・2年生は、一人1台端末を活用し、これまでワークシートで行ってきた課題を電子化したり、曲のイメージに合う画像を共同編集できるブラウザのアプリを使い、自分で操作しながら取り組む学習の工夫をしています。

職業に関する専門教科

（ビルクリーニングコース）



3年生は、清掃を担当する場所から Teams でオンライン中継し、作業の様子を共有することで、生徒が報告・連絡・相談をしやすくなり、自ら効率的に仕事を進めることができています。

★編集後記★

東京都では、全ての子供が将来に希望をもち、進んで学習し、自分らしく成長していくことを目指すための「東京型教育モデル」の実践の一つとして、ICTを活用した「学び」を掲げています。タブレット端末やオンラインを活用した学習、インターネットを活用した調べ学習は、本校でも今後さらにスタンダード化していきます。こういった学習の充実を図るために、校内の環境整備をはじめ、我々教員も子供たち同様に日々学びを深めていきます。

主幹教諭：三浦 千尋

東京都立永福学園

副校長 秋本 友美 山崎 裕之 安田 泉
主幹教諭 池田 佳信 池田 奈央子

〒168-0064

東京都杉並区永福1丁目7番28号

電話 03-3323-1380 FAX 03-3323-1381

<http://www.eifuku-sh.metro.tokyo.jp/>